

CLOSE UP!



先進医療の紹介

有床義歯補綴治療における
総合的咬合・咀嚼機能検査

● 検査手順と効果

入れ歯を作る治療前、新しい入れ歯装着後の調整時、調整終了後の3回測定することが理想的です。所要時間は各回約20分です。

グミゼリーを用いた
咀嚼能率の検査

グミを規定の方法(片側)で咀嚼し、グミゼリーから溶出するグルコース(糖分)濃度を測定します。グルコース濃度が高いほどしっかり咬めていると評価できます。

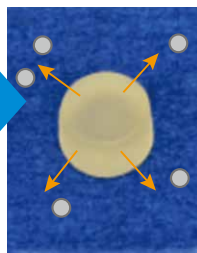
グミゼリーを用いた咀嚼能率検査法



グミゼリーを咀嚼する



咀嚼後吐き出す

グルコースの
溶出量を
測定

グルコース測定器

咀嚼能率を測定

● 顎運動測定器を用いた
咬み合わせ具合の検査

顔に専用の機械を装着し、口を開けたり閉めたりする際の顎の動きをデータとして捉えます。咬み合わせの場所が適切であるか、咬む場所が安定しているか、顎の動きのパターンやリズムがぎこちなくないかなどが正確に評価できます。



入れ歯にしたけれど、よく咬めるようになったのだろうか…入れ歯の咬み合わせや咀嚼能率の検査を行い、顎運動の安定性や咀嚼機能を客観的に評価する検査方法が、平成27年3月より本院で先進医療として採用されましたのでご紹介します。

■説明は、
徳島大学病院
(右)口腔管理センター
後藤崇晴(ごとう たかはる) 特任講師
(左)かみあわせ補綴科(第二補綴科)
大倉一夫(おおくら かずお) 講師
■問い合わせ Tel.088-633-7370



患者さんへ

今までの入れ歯では歯科医と患者さんの主観的な評価に基づいて治療が行われていました。今回紹介した先進医療の検査方法では、客観的な指標で評価することができるため、治療目標を明確にすることができます。

入れ歯で咬めているのか不安がありましたら、是非お試しください。検査は1回あたり2,600円(健康保険は適用外)となり、お申し出があればどなたでも受けられます。

「糖尿病克服川柳」
募集

■ 募集期間

平成28年1月12日(火)～2月26日(金)

1. 募集内容

本院にご来院・入院中の方が応募できます。未発表作品に限りです。1人3句まで応募できます。

2. 応募方法

院内の正面玄関や診療科受付付近に設置の「いきいきらいふ」の冊子の入ったラックに所定の応募用紙を配置しています。同じラックに設置の応募箱へ投函してください。(郵送およびe-mailでの応募は受付できません。)

3. 結果発表

4月上旬に院内掲示板およびホームページ上にて優秀者を発表。優秀作品は随時「いきいきらいふ」に掲載します。優秀作品の応募者には1,000円分の図書カードをプレゼント!